広報さかい
sakai
5
May 2019
No.627

令和元年度 境町の予算と主な事業を紹介します！

特集「境町の予算」

始まる
「新時代」

おしえて サカイタチ

境町の予算をお伝えします

令和元年度 境町の予算

新しい時代「令和」を迎え、境町の今年度予算は昨年に引き続いて増加傾向にあります。なぜ予算が増えているの？町の財政状況は大丈夫なの？予算は何に使われているの？など、境町の予算から、町の現状とこれからの取り組みについてお伝えします。

前年度比13・4％増で過去最大の予算規模に

町の歳入歳出予算は、前年比13・4％増の125億8，100万円となり、昨年に引き続き過去最大の予算規模になっています。

これは、他市町村と比較しても、高萩市や人口が4万人を超える群馬県大泉町と同等の予算額となり、境町の人口規模に対して大きいものであることが分かります。

なぜ予算規模が増加しているのかというと、子育て環境の整備や教育の充実、住民の皆さんの安全・安心のための防災対策や、オリンピック・パラリンピックに向けた施設整備、移住定住政策の推進など、活気のある住みよいまちづくりに向けて、今年度も多くの事業を実施するためです。

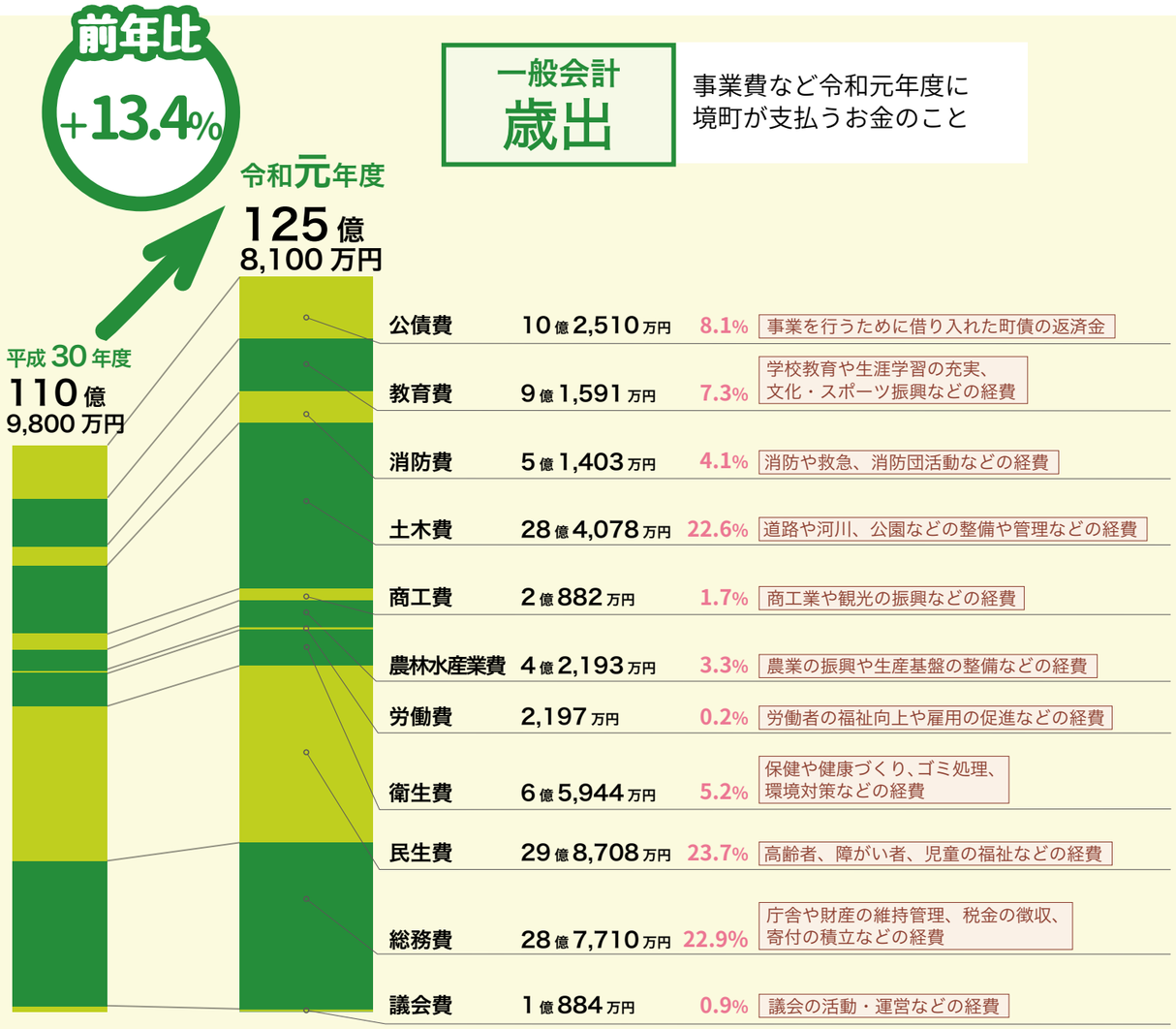
《全国自治体の予算額と比較》

自治体名（人口）	予算額
群馬県大泉町（人口4万1,841人）	125億円
高萩市（人口2万8,056人）	125億円
境町（人口2万4,173人）	125億円
八千代町（人口2万2,100人）	79億円

※令和元年度予算額で比較
（4月1日現在の常住人口）

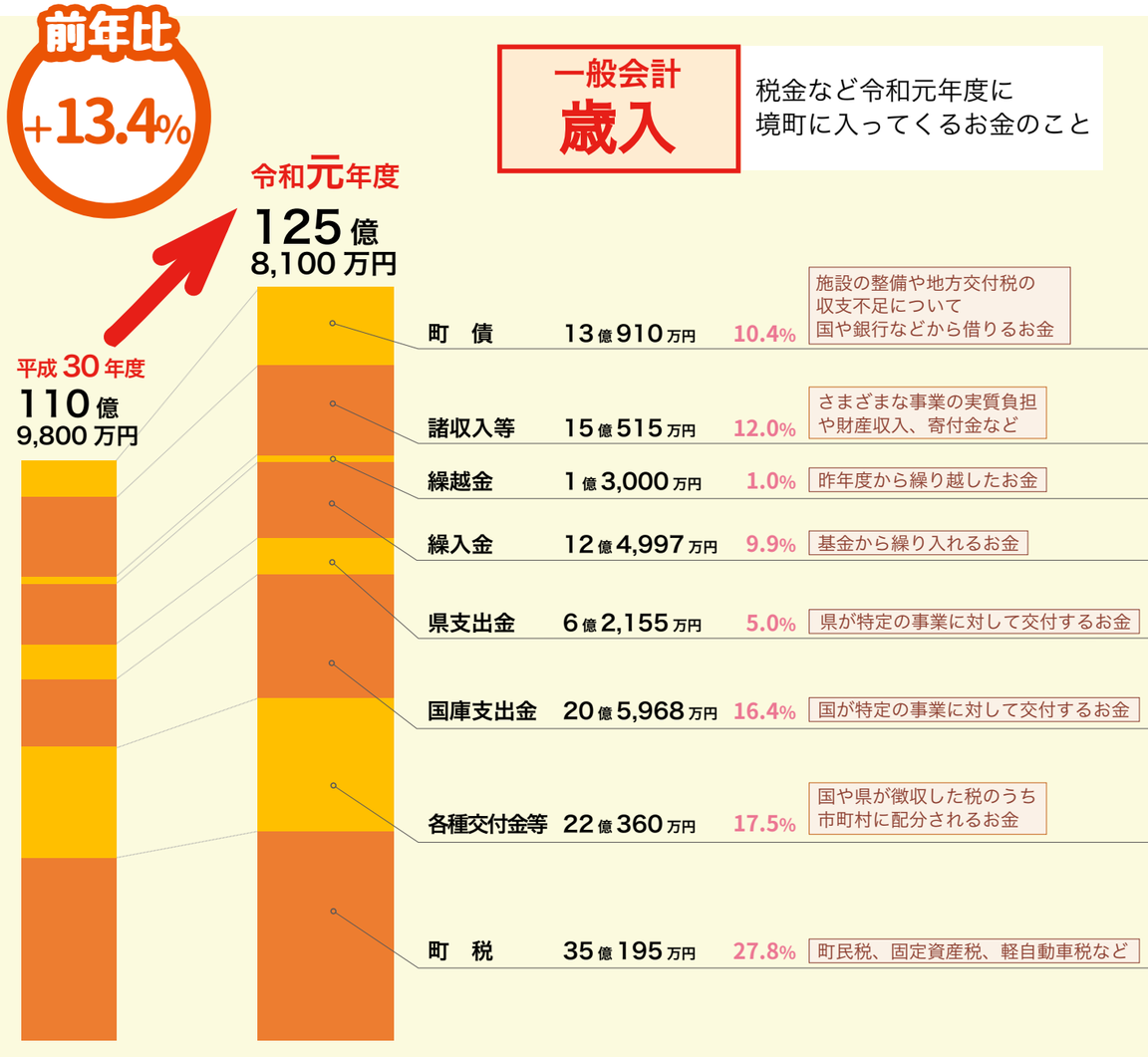
一般会計 歳出

事業費など令和元年度に境町が支払うお金のこと



一般会計 歳入

税金など令和元年度に境町に入ってくるお金のこと



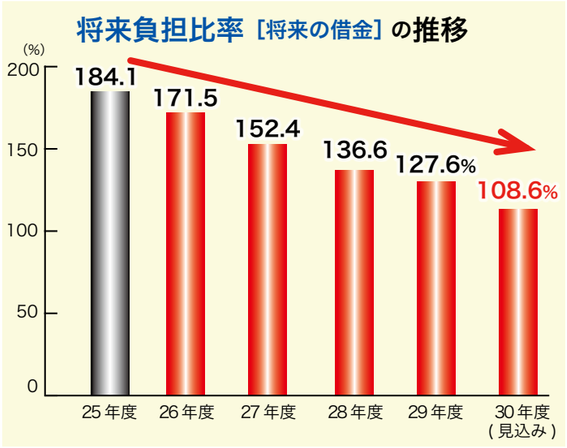
財政状況

新たな財源を獲得し 借金を減らし 貯金を増やす

Point 1 将来の借金を削減

左の図は、将来の借金を示す指標「将来負担比率」の推移を表したグラフです。町では、5年間で約76％将来の借金を削減しています。

将来の借金の負担も５年間で 約76％削減！



Point 2 町の負担を減らす新財源

補助金の獲得　約11億3,000万円（平成30年度）

平成25年度➡平成30年度
6年間で
総額27.9億円
の補助金を獲得

ふるさと納税　約57億6,100万円（平成30年度）

4年連続寄付額
県内1位
（平成27年度～平成30年度）
関東でも1位
（平成29年度）

太陽光発電事業　約2,000万円（平成30年度）

約2,000万円
の収入を20年分
確保できる見通し
（平成28年度より全施設稼働）

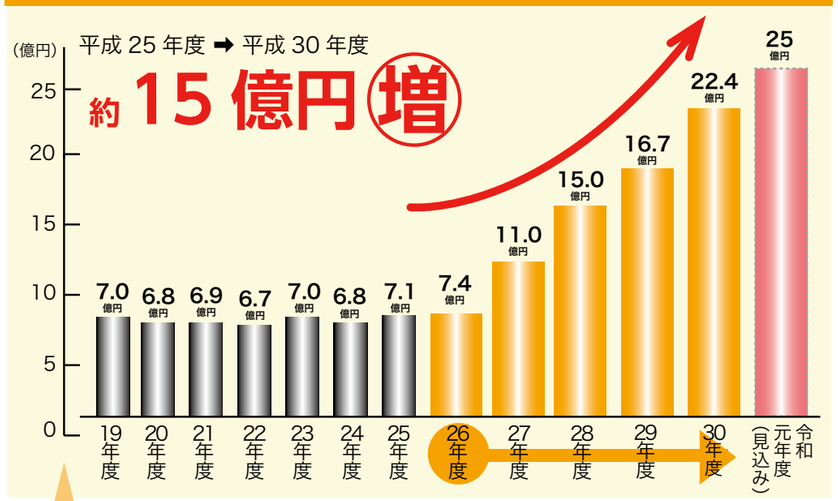
企業版ふるさと納税　約3億490万円（平成30年度）

平成28・29年度
合計寄付額
市町村では1位
全自治体では2位

一般的な自治体では、学校や公共施設などいわゆる「ハコモノ」を作る際に支出（歳出）が増え、自治体の持ち出しも増えます。

境町では、施設整備や事業を実施する際に、ふるさと納税や企業版ふるさと納税の寄付金、国や県の各種補助金などの新たな財源を極的に活用することで、町の持ち出しを減らす努力をしています。そのため借金を増やすことなく、反対に、5年連続で借金を減らすことが出来ています。

境町の貯金（財政調整基金＋ふるさと納税などの基金）の推移



Point 3 5年連続貯金も増加

町では、平成26年以降毎年貯金を増やしています。貯金額は5年間で3倍の16・7億円に増加しており、令和元年度には過去最大の25億円の貯金額になる見込みです。

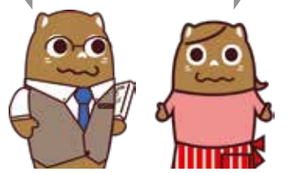
財政調整基金＋ふるさと納税などの基金
22億4,552万円（＋5億7,100万円）
※（　）内は前年度比

- **●財政調整基金**　8億6,790万円（＋1,978万円）
  税収の補てんや災害時の緊急的な対応などに使います。
- **●ふるさとづくり基金**　2億2,640万円（±0円）
  ふるさと納税により集まった寄付を様々な事業に役立てます。
- **●公共施設整備基金**　3億7,176万円（＋3億7,098万円）
  公共施設の整備のために役立てます。
- **●英語教育基金**　6億1,316万円（＋1,316万円）
  先進的な英語教育を町内小学校で継続的に実施するために使います。
- **●友好都市交流基金**　6,581万円（新規設置基金）
  友好都市交流を継続的に実施するために使います。
- **●子ども未来基金**　1億49万円（新規設置基金）
  子育て環境の充実や子育て世帯の応援に役立てます。

おしえて

Q たくさん事業をやらなければ、もっと早く借金が返せるんじゃない？

A 企業と一緒で投資をすることによって、境町は活気のある選ばれる町を目指しています。



現在、日本では少子高齢化による人口減少が進んでいます。将来の推計では2040年までに全国約1,741ある市町村のうち、半数の896市町村が消滅するといわれています。このまま境町でも人口減少が進めば、町の税収が減り、行政サービスを維持するために税金を増額するなど、住民の皆さんの負担が大きくなってしまいます。

境町では、借金を減らし、貯金を増やす財政改善の努力をしながら、企業と同様に必要な事業には投資をしっかり行い、経済を活性化して人口減少や高齢化対策に取り組んでいます。

なかでも、平成30年度から境町の全小中学校で本格的に実施している「スーパーグローバルスクール事業」は、境町に住めば無料でフィリピン人講師による高いレベルの英語教育を受けられることから、県内外で注目されており、人口減少に歯止めをかける結果が出ています。平成29年度は、県西地区では唯一境町のみ13名の増加、平成30年度も近隣自治体と比較すると最小限の減少幅となりました。

町では、この事業を安定して継続するための財源として、小学校6年間分の費用6億円を、ふるさと納税から基金に積み立てました。

今回、この英語教育が国に認められ、今年度より約8,500万円の補助金が交付されることが決定しました。

町では、今後もふるさと納税や各種補助金を活用しながら、必要な事業にしっかり投資をすることで、地域や経済を活性化して選ばれる町を目指して努力していきます。

次のページからは
令和元年度に実施する
事業を紹介します

町民に極力負担をかけない改善策で

令和元年度に実施する 主な事業

町もいろいろやってるのね！

移住定住 / 子育て支援 / 企業誘致 / オリ・パラ施設整備 / 健康寿命の延伸 / 防災対応 / 冠水対策 / 教育

子 子育て満足 子育て世代が安心して育み・暮らせるまちづくり

新規 産後ケア事業 150万円

ふるさと納税＋国の補助金で町の持ち出し０円

子育て世帯を応援！ 産後の母子にきめ細やかな支援を

産後４カ月までの母子を対象に、産科病院において、心身のケアや育児のサポート等のきめ細かい支援を行う「産後ケア事業」、産後４～６カ月のお子さんを保育士等が預かり、その間、母親に町内の温泉施設等でリフレッシュしていただく「産後リフレッシュケア事業」を実施します。

健康推進室
保健師 小川由香

出産は大きな喜びですが、産後は心身の不調が起きやすい時期でもあります。安心して子育てできるよう、母子のサポートを医療機関等と町が協力して行います。

拡充 特定不妊治療費助成事業 200万円

100% ふるさと納税を活用

特定不妊治療費の拡充！ 限度額を５万円 → 10万円に

少子化対策の推進と出産を希望する世帯の経済的負担の軽減を図るため、特定不妊治療費の一部を助成します。令和元年度より、限度額を前年度までの５万円から倍の10万円に拡充し、更に手厚く経済的支援を行うことで、出産を希望する世帯をサポートしていきます。

健康推進室
管理栄養士 宮崎泉

不妊治療の経済的負担が治療を躊躇させているという指摘が多い中、町では治療への支援を拡充し、夫婦の不安を少しでも解消できるよう取り組んでいます。

第１子・２子の給食費半額。３子以降は全額無料！ 給食費が実質１人分でOK

町在住で小中学校に在学している児童生徒のうち、学校給食費が第１子、第２子は半額・第３子以降は無料になる補助事業を実施しています。この事業により、課題だった給食費の滞納者減少についても効果が期待されています。

子育て応援学校給食費補助金交付事業 4,631万円

100% ふるさと納税を活用

境町在住の小中学生のための給食費補助事業は、平成28年度より施行しています。

給食費の無料は助かります

染谷力哉さん、美穂さん
美海さん（境小５年）、梨花さん・夏帆さん（３年）、力蔵くん（５歳）

我が家は３人が小学生なので、給食費がお得になり助かってます。家族が多いので、このまま続けばうれしいです。

保護者の負担を軽減！町内の各保育施設に「紙おむつ回収ボックス」を設置

これまで、町内の各保育施設における子ども達の使用済み紙おむつについては、保護者が持ち帰っていました。今年度からは、各施設に紙おむつ回収ボックスを設置し、使用済み紙おむつを回収することにより、保護者の負担軽減を図ります。

新規 町内保育施設使用済み紙おむつ回収事業 50万円

100% ふるさと納税を活用

境いずみ保育園に設置された紙おむつ回収ボックス

おむつの回収すごく助かっています

後藤和代さん（伏木）

これまでは毎日使用済みの紙おむつを持ち帰っていましたが、今年度から保育園で回収してくれているので、家庭ゴミの負担も軽減されて、すごく助かっています。

教 教育充実 グローバルに活躍する子ども達の未来を育む

英語力UPチャレンジ事業 256万円

100% ふるさと納税を活用

昨年度より実施されているフィリピン人講師による英語授業の成果が早くも現れ始めています

境町の全小・中学生が対象 英検を無料で受けられます！

昨年度より実用英語技能検定（英検）を希望する町内全小・中学生を対象として、検定料を全額補助する「英語力チャレンジUP事業」を開始しました。また、町内各小・中学校で、英検の受験が行えるように登録を行いました。令和元年度は、希望受験ではなく、学年を決めて全員が受験できるような制度の整備にも取り組んでいきます。

英語がどんどん好きになっています！

馬場由佳さん（境小３年）

去年の11月に５級を、今年の１月に４級の検定を受けました。勉強が大変で試験も難しかったですが、合格できて嬉しかったです。

新規 英語能力スキルアップ事業 460万円

100% ふるさと納税を活用

昨年度より町内全小中学校で実施されているフィリピン人講師による英語授業の様子

フィリピン人講師による職員及び住民向け英語講座を実施！ ６月開始予定

町では、姉妹都市のマリキナ市や、友好都市のホノルル市、長年交流の続くアルゼンチン共和国等との国際交流のさらなる進展が見込まれることから、境町職員及び、住民の皆さんの英語能力の向上を目指し、フィリピン人英語講師１名を迎え、職員及び住民向けに定期的に英語講座を行う「英語能力スキルアップ事業」を実施します。

境町の皆さんよろしくお願いします。

英語講師
ジェレル・レノブラスさん

境町で英語講師として働くのをとても楽しみにしています。境町の皆さんの英語力を少しでも向上させられるように頑張ります。

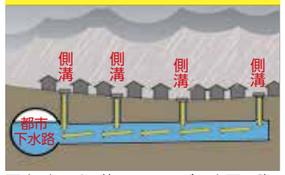
水 冠水対策 冠水被害軽減のために

市街地の冠水対策として 雨水バイパス管を整備します

平成27年９月に発生した関東・東北豪雨の水害を教訓に、令和２年度の完成に向け、都市下水路に接続する雨水バイパス管の設置工事を実施します。完成後には１時間に54ミリの豪雨でも市街地内の冠水被害が軽減されることになります。

雨水排水対策事業
・総事業費（３カ年） 5億円
・今年度事業費 2億500万円

国の補助金活用し、町の持ち出し５割



雨水バイパス管のイメージ。大雨の際、側溝から雨水がバイパス管に流れ込み、冠水被害を軽減します。

坂花町区長 小野里利夫さん

関東・東北豪雨災害の際、小林輪業さんのあたりが完全に冠水して、車が何台か浮くほどでした。今後同様の被害が出ないように、雨水バイパス管の整備には期待しています。

防 防災対策 住民の安全・安心のために

新規 防災行政無線のデジタル化で災害時に迅速かつ正確な情報伝達を

災害時に迅速かつ正確な情報伝達を行い、住民の生命と財産を守るため、国の補助金を活用し、防災行政無線のデジタル化を実施し、町内全域をカバーするため、屋外拡声子局を従来の６基から17基へ２カ年計画で整備します。

デジタル防災行政無線施設整備事業
・総事業費（２カ年）3億2,985万円
・今年度事業費 1億4,748万円

国の補助金活用し、町の持ち出し３割

防災安全課 危機管理専門監
生天目一司（元自衛官）

防災行政無線のデジタル化は、皆さんに正確な情報を速やかにお伝えする有効な手段です。今後町内全域をカバーするため、屋外拡声子局を整備していきますのでご協力をお願いします。

商 商工・観光
町なかの賑わいと活性化を創出するために

「キッズハウスさかい」、「河岸の駅さかい」、「モンテネグロ会館」、「ニコニコパーク及び保健センター」の機能拡充を実施

地方創生拠点整備交付金
1億7,212万円を獲得！

子育て拠点・コワーキングスペース整備事業　9,998億円 新規
国の補助金を活用し、町の持ち出し25%

小学校低学年まで利用可能な新施設を併設するとともに、コワーキングスペースを整備

河岸の駅さかいリノベーション事業　4,699万円 新規
国の補助金を活用し、町の持ち出し25%

キッズスペース及びイベントスペースを整備するリノベーション等を実施

モンテネグロ会館リノベーション事業　4,068万円 新規
国の補助金を活用し、町の持ち出し25%

既存施設の資材をリサイクルし、当時の面影を残した新たな施設を整備

全天候型子育て世帯等交流施設整備事業　1億5,728万円 新規
国の補助金を活用し、町の持ち出し25%

「ニコニコパーク」の屋内施設化、保健センターのリノベーション等を実施

町では、地方創生拠点整備交付金を活用し、上記４施設の機能拡充を実施します。

「キッズハウスさかい」には、小学校低学年まで利用可能な新たな施設を併設し、子育てしながら利用可能なコワーキングスペース（※）を設置します。また、「河岸の駅さかい」には、子育て世帯が利用しやすいようにキッズスペースを整備し、施設奥の蔵でイベント等を開催できるようにリノベーションを実施します。さらに、アルゼンチン共和国との友好を深め、交流人口拡大の拠点とするため、隈研吾氏の設計により、既存のモンテネグロ会館の資材をリサイクルし、当時の面影を残した新たな施設を整備します。そして、多くの子育て世帯が利用する「ニコニコパーク」については、屋内施設化を行うとともに、隣接する空きスペースを有効活用したキッズスペースや、コワーキングスペースとしても活用できるカフェを整備します。保健センターについては、ベビーカーのスロープ、キッズスペースや授乳室の整備など、子育て世帯が利用しやすい施設にリノベーションを実施します。

※コワーキングスペース・・・様々な職業の方が仕事や会議などで利用できる共有型のオープンスペース。

オ オリンピック・パラリンピック
オリンピック・パラリンピックに向けた施設整備

・文化村にオリンピック仕様のテニスコートを含む都市公園を整備
・境古河IC周辺地区に多目的運動施設を含む都市公園を整備

社会資本整備総合交付金等
4億4,366万円を獲得！

都市公園整備事業　3億8,060万円 新規
国の補助金を活用し、町の持ち出し約３割

文化村に整備予定のオリンピック仕様のテニスコートのイメージ

境古河IC周辺地区整備事業　5億8,340万円 新規
国の補助金を活用し、町の持ち出し約４割

境古河IC周辺地区に整備予定のウォーターベース人工芝ホッケー場のイメージ

アルゼンチンオリンピック委員会から強い要望があったホッケー場の整備については、オリンピック基準に対応したウォーターベース人工芝のホッケー場を境古河IC周辺地区内に整備する計画です。オリンピック後については、関東近辺の大学などと提携して有効活用していきます。また、テニスコートについては、文化村にオリンピック仕様のハードコート４面を整備し、そのうち２面は屋根を設置することで、雨天時や真夏の直射日光を軽減できるような施設整備を実施します。

健 健康増進
健康寿命を伸ばすために

65歳以上の方にさしま茶配合の葉酸サプリを無料配布！

脳卒中・認知症の予防効果が期待され、世界中で注目を浴びている成分「葉酸」。境町では、株式会社DHCと包括連携協定を結び、健康寿命を延伸するための様々な健康づくり事業に取り組んでいます。その一つとして、平成29年度より、65歳以上の希望者全員に葉酸サプリメントを１年分配布し、健康長寿を全力サポートしています。平成30年度からは、「さしま茶入りの葉酸サプリ」の配布を行っています。

葉酸サプリプロジェクト事業　609万円
国の補助金＋ふるさと納税

平成30年度は65歳以上の1,109人に１年分のサプリを無料配布

健康のために欠かせないサプリ

野村かず子さん、野村ちい子さん（山崎）

健康維持のために飲み続けています。体に良いものを町が無料で提供してくれるのはとてもうれしいです。

プロテインの置き換えダイエットで「境町メタボ脱出プロジェクト」を実施

生活習慣病予防の一環として、平成29年度より、株式会社DHCと連携し、「境町メタボ脱出プロジェクト」を実施しています。昨年度はBMI指数25以上の男女92名の住民の皆さんが参加し、普段の食事と置き換えて摂取する「DHCプロテインダイエット」を使用した減量プログラムに挑戦しました。約３カ月間にわたる減量プログラムの結果、約９割の方が減量に成功しました。

メタボ脱出減量プログラム事業　364万円
国の補助金＋ふるさと納税

平成30年度さかいまちダイエットアワード受賞者の皆さん

15.6kgの減量に成功しました

齋藤雅人さん（上町）

ダイエットしたことで、気になっていた悪玉コレステロールも基準値に戻りました。今後も引き締まった体を維持したいです。

TOPICS

国民健康保険税を前年度より全体で約1%引き下げ、住民の負担軽減を図る

例；４人世帯の場合

【試算条件】
・世帯所得200万円（控除額330,000円）
・固定資産税84,153円（H29年度平均）

平成30年度
396,700円/年税額
▼
令和元年度
392,700円/年税額
▼
年税額4,000円（1%）の引き下げ

県西地区では境町だけが引き下げ！

国民健康保険の財政運営については、昨年４月から茨城県が主体となり実施しています。この度、県から令和元年度国民健康保険事業納付金額が提示されました。特定健診の受診率向上等、保険事業強化により医療費削減を推進し、県西管内の市町では唯一境町だけが、保険税を前年度より全体で約1%引き下げ、国民健康保険加入者の負担軽減を図ります。

保険年金課
係長 岩岡美和

今後さらに保健事業を推進することで、医療費の削減を目指し、引き続き住民の皆さんの負担軽減と健康維持に取り組んでいきます。

農 農業振興
農業活性化へ向向けた地場産品のブランド化

中箱のデザインは、さしま茶の茶葉、高々と茶箱が積み上げられた高瀬舟と、富士山を借景ににぎわう境河岸の往時の様子を表しています。

TOPICS

境町のPRにも貢献！さしま茶の新パッケージ完成

町では、麗澤大学と提携し、さしま茶ブランド推進事業を行ってきました。その一環である「ブランディング・プロモーション事業」の成果物として、さしま茶の新パッケージが完成しました。新パッケージは、化粧箱と内箱、付属の手提げ袋がセットになっており、江戸時代に隆盛を誇った「河岸の町さかい」をイメージする意匠が箔押しなどであしらわれ、高級感のあるデザインとなっています。

さしま茶協会　石山嘉之会長

新パッケージは昔の境町をデザインで表現していて、さしま茶のPRにつながると思います。色使いや素材にもこだわっていて、重厚で高級な感じが良いですね。

境町人事紹介

新たに就任・任命された、新参与、防災危機管理専門監、教育次長、新規採用職員を紹介します。

県弁護士会との協定により高度化する行政法務事務の解決を目指す

新参与
野田（のだ） 幹子（みきこ）

Profile 京都府出身。
2007年 中央大学法学部卒業。
2010年 明治大学法科大学院卒業。
2014年1月 弁護士法人萩原総合法律事務所筑西支所に入所。
2019年4月 同法人事務所常総支所に入所。
家族法務を得意分野とする。

Voice ▶ 迅速さと正確さが要求される行政運営で、皆様が安心して解決策を導き出せるように、幅広い分野の知識獲得に努めていきたいと考えています。ご相談への回答が皆様の財産となるように、分かりやすい説明を心がけるだけでなく、汎用できるような知識をご提示していけるよう心がけます。

内閣府の地方創生人材支援制度を活用し移住・定住のプロフェッショナルを登用

新参与
田村（たむら） 剛（つよし）

Profile 大阪市出身。
1984年 株式会社リクルート入社。
2010年6月 株式会社 LIFULL（東証一部）入社。
2017年 内閣府、国土交通省、総務省と連携して全国版空き家バンクを設立。また、一般社団法人全国空き家バンク推進機構（ZAB）設立に参加し、理事に就任。

Voice ▶ これまで民間の立場で全国版空き家バンクの立ち上げや複数の自治体と連携し、空き家の見える化や活用促進に取組んできました。今回ご縁があり、境町の皆様と一緒に持続的なまちづくりに取組ませていただきます。微力ではありますが、どうぞよろしくお願いします。

自衛官としての知識や経験を活かし、災害に強い境町を目指す

危機管理専門監
生天目（なばため） 一司（かずし）

Profile 笠間市出身境町在住。
1983年 陸上自衛隊（機須賀）入隊。東京都、神奈川県・茨城県・長野県内の駐屯地等において部隊指揮官、部隊及び機関等の幕僚（運用、防衛警備、渉外・広報、研究、人事、募集等）を歴任。

Voice ▶ 日本各地で見られる異常気象や大規模地震による災害の発生は決して他人事ではありません。皆様と一緒に自助・共助の意識を高め、自衛隊での経験を活かし、「安心して暮らせるまち・安全なまちづくり」に全力で取り組みたいと思います。

境町初の女性教育次長として、子育て世代に選ばれる教育環境の推進に尽力

教育次長
小関（こせき） 幸枝（ゆきえ）

Profile 境町出身。
1978年 千葉大学教育学部卒業。
同年、旧総和町立下大野小学校を振り出しに長田小学校、境小学校に教諭として勤務。行政を経て2003年より長田小学校教頭。2013年より古河市立駒羽根小学校校長を務め、2016年定年退職。

Voice ▶ 子ども達の輝かしい未来と笑顔あふれる町づくりの一翼を担うという重要な職に就き、身の引き締まる思いです。これまでの教育現場での経験を活かし、境町の教育に少しでもお役に立てれば幸いです。どうぞよろしくお願いします。

新規採用職員

総務部 企画経営課
主事 **斉藤（さいとう） 美咲（みさき）**

福島県郡山市出身境町在住。福島県三春町役場に6年間勤務し町営住宅・財政管理に従事。結婚を機に境町に移住。

Voice ▶ これまでの経験を生かし、住民の皆様のために力を尽くして参ります。

総務部 企画経営課
主事 **印出（いんで） 隆之（たかゆき）**

古河市出身。東洋大学卒業。大手監査法人に約15年勤務し、主に総務部でオフィス管理業務に従事。

Voice ▶ 民間経験を活かして、境町のさらなる発展のため、河岸の街の賑わいを取り戻せるよう精一杯努めます。

総務部 総務課
主事 **小林（こばやし） 沙椰（さや）**

坂東市出身。境高校卒業後、公務員を目指して大原学園柏校公務員就職コースに入校。

Voice ▶ 日々発展・進化し続ける境町へ貢献できるよう、精一杯励んで参ります。

まちづくり推進課
ふるさと納税推進室
主事 **河野（こうの） 彬（あきら）**

東京都府中市出身境町在住。明治大学卒業。在学中に境町長の講演を聴講したことがきっかけで境町職員を志願。

Voice ▶ 境町について知らないことも多いですが、外からの視点を活かして仕事に取り組みたいと思います。

秘書公室 秘書広聴課
多文化共生推進室
主事 **鹿野谷（かのや） 希美（のぞみ）**

坂東市出身境町在住。東洋大学卒業。前職は外国人技能実習生の受入監理団体の職員として多文化共生に携わる。

Voice ▶ 斬新な政策を続ける境町で、これまでの経験を生かし、精一杯精進してまいります。

教育委員会 学校教育課
主事 **上竹（うえたけ） 奈緒（なお）**

古河市出身。横浜国立大学大学院卒業。私立高校で日本史教員として従事後、特別支援学校に勤務。

Voice ▶ 教育現場での経験を活かし、境町の教育を全力でサポートしていきたいと思います。

建設農政部 農業政策課
主事 **柿沼（かきぬま） 大輝（ひろき）**

八千代町出身境町在住。城西大学卒業後、境町役場防災安全課の臨時職員として従事。

Voice ▶ 発展し続ける境町に貢献できるよう、責任感をもち、日々の業務に取り組んで参ります。

福祉部 子ども未来課 健康推進室
主事 **海老原（えびはら） 里菜（りな）**

つくば市出身。筑波大学卒業後、1年間研究生として水泳（クロール）の研究を行う。

Voice ▶ 境町が今よりもさらに魅力溢れる町になるよう、日々精一杯努めて参ります。

福祉部 子ども未来課 健康推進室
保健師 **中野（なかの） 翔太（しょうた）**

埼玉県加須市出身。埼玉医科大学を卒業後、看護師として4年間埼玉県内の病院に勤務。

Voice ▶ 男性保健師ならではの目線と子育て経験を生かし、境町の皆様の健康作りに貢献できるよう努めます。

総務部 防災安全課
主事 **國府田（くにふだ） 茉歩（まほ）**

笠間市出身。下館第一高校卒業。茨城県警察に採用され、交番・警察センター勤務を経験。

Voice ▶ 境町の新たな発展に貢献することができるよう日々の業務に努めて参ります。

群馬県大泉町 ＋ 人事交流協定

2月21日、群馬県邑楽（おうら）郡大泉町役場において、大泉町との人事交流に関する協定を締結しました。

大泉町は、群馬県南東部利根川沿いに位置し、人口は約4万2千人。うち約18%となる7，600人強が外国人であり、在住者の多くをブラジル人が占めています。

この協定は、境町・大泉町が抱える地域課題の解決に向け、先進的な取り組みを相互に共有し合い、理解を深めることにより行政運営の活性化を目的としています。協定に基づき、4月より大泉町から多文化共生の経験が豊富な課長が境町へ、大泉町へはふるさと納税を担当していた職員が派遣され、相互の人事交流が始まりました。

人事交流に関する協定書を掲げる、橋本町長と村山大泉町長（右）。また、境町と大泉町は平成30年12月に、災害発生時に、救援物資の援助や被災者支援を行う「災害時相互応援協定」も締結しています。

多文化共生力を強化する人事交流を開始

＼4月より人事交流実施／

秘書公室　秘書広聴課
多文化共生推進室
室長　笠松（かさまつ） 弘美（ひろみ）

群馬県大泉町出身。駒澤大学卒業後大泉町役場に入庁。平成30年4月より大泉町多文化協働課長として先進的な多文化共生事業に取り組む。趣味はスポーツ観戦。

Voice ▶ 今後、全国のどの地域でも外国人住民の増加が予想されます。大泉町での経験を活かし、微力ながら境町の発展に、貢献できるよう努めて参ります。

職員の人事異動

異動（平成31年4月1日付）

※派遣及び係長級以上の職員を掲載
※◎は昇任、（　）内は旧所属等

【秘書広聴課】
係長　坂井静香（男女共同・国際室）
多文化共生推進室
室長　笠松弘美（群馬県大泉町より派遣）
◎室長補佐　田村学（男女共同・国際室）
【まちづくり推進課】
課長補佐　荒井隆喜（税務課）
係長　間瀬理恵（住民課）

総務部
【総務課】
課長　関久則（人権・協働ハーモニー課長）
【企画経営課】
◎参事兼課長　佐野直也
◎係長　三宅昭広
【税務課】
課長　倉持達弘（住民課長）
◎課長補佐　倉持敬（防災安全課）
【住民課】
◎課長　中村泰明（建設課）
◎係長　上原ゆかり
人権・協働ハーモニー室　※新設
◎室長　倉持雅章（人権・協働ハーモニー課）
係長　野本真由美（会計課）
【防災安全課】
危機管理専門監　生天目一司

福祉部
【介護福祉課】
課長　張替克己（農業委員会事務局長）
◎副参事兼課長補佐　宮本保夫
【保険年金課】
◎副参事兼課長補佐　中村恵一
【子ども未来課】
◎課長補佐　石綿勲（保育協会へ出向）
◎園長　大越素子（おおぞら保育園へ出向）
主任保育士　飯島麻子（おおぞら保育園へ出向）

建設農政部
【建設課】
◎課長補佐　田中卓
【都市計画課】
◎課長補佐　半村忍
【農業政策課】
◎係長　佐怒賀丈実

退職者（平成31年3月31日付）

【上下水道課】
◎課長　野口雅之
◎◎係長　染谷典章
◎係長　間中保浩
教育委員会
教育次長　小関幸枝
【学校教育課】
係長　鹿久保淳（税務課）
【生涯学習課】
◎課長　小野博章
◎課長補佐　石塚伸二（学校教育課）
【学校給食センター】
係長　栗原栄（農業政策課）
議会事務局
◎局長　福島浩
農業委員会
◎局長　中村博明（まちづくり推進課）

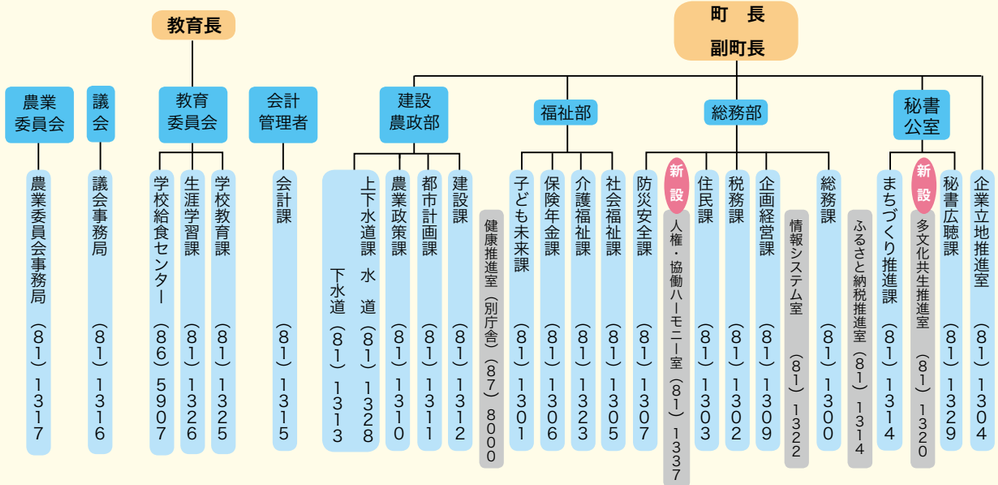
国・県等への派遣

【観光庁へ派遣】
主事　田中裕紀（継続）
【環境省へ派遣】
主幹　本山英憲
【茨城県へ派遣】
主幹　金久保沙知恵（継続）
主幹　戸塚宏幸
主事　影山雄紀
【群馬県大泉町へ派遣】
主事　高橋真理
【株式会社トラストバンクへ派遣】
主事　栗原千恵（継続）

☆野村静喜（理事兼防災安全課長）
☆福島洋二（防災安全課副参事）
☆五十畑康晴（上下水道課長）
稲垣稔（教育委員会教育次長）
長谷川稔（参事兼生涯学習課長）
加藤武（介護福祉課長）
大越喜浩（税務課長）
馬場由香子（健康推進室室長補佐）
小野里忠（上下水道課副参事）
竹村恵美子（秘書広聴課12月31日付）
菅野直子（給食センター）
島根桂子（中央公民館）
関ますみ（おおぞら保育園長）
上竹恵美子（子ども未来課）

※☆は4月1日付再任用

機構図及び各課電話番号



第23回

境情熱

JOUNETSU-SAKAI

田中元子

情熱「境」では、境町在住・出身の方、また境町に縁のある方で、芸術、音楽、スポーツ等、様々な分野で活躍されている方を紹介します。第23回は、喫茶ランドリーを運営する田中元子さんにお話を伺いました。

【略　歴】
◆田中元子（たなかもとこ）
昭和50年8月5日境町生まれ。5歳まで境町で育つ。18歳まで茨城県常総市で過ごし、独学で建築を学びパートナーの大西正紀さんと共にクリエイティブユニットmosakiを共同設立。建築コミュニケーター・ライターとして、主にメディアやプロジェクトづくりを行う。2010年よりワークショップ「けんちく体操」に参加。同活動で2013年日本建築学会教育賞を受賞。2015年よりパーソナル屋台の活動を開始。2016年株式会社グランドレベルを設立。2018年喫茶ランドリーの運営を開始。

「喫茶ランドリー」という自由で多様で許容な空間

◎ひとに囲まれた境町時代

生まれてから5歳までを境町で過ごしました。父は北海道出身で、協同病院（現：西南医療センター）に勤めていました。杉の子幼稚園に通っていて、個人経営のねむの木ピアノ教室でピアノを習っていました。今では個人宅のピアノ教室は珍しくなりました。境町では人に囲まれ、人付き合いが盛んだったと記憶しています。

◎会社立ち上げのきっかけ

ある日、建築の作品集を見た時にひと目惚れをして、建築の面白さを多くの人に伝えたいと独学で学んでいました。縁あって専門誌での執筆依頼があり、建築の世界に飛び込みました。それからライターを10年やりました。建築では大抵、1階から屋上までをトータルで考えます。でも、私たちが普段付き合うのは建物の1階部分なので「1階を特殊な領域」として見直しが必要と考え、2016年に1階作りや公園のプロデュース専門会社『グランドレベル』を立ち上げました。

◎地域にランドリー喫茶を

会社を作ってすぐ、築55年のビルの活用について相談がありました。地域の人が集まるきっかけにもなる、デンマークで見たランドロマット（全自動洗濯機）カフェのようなものが日本にもあればいいなと思い、『喫茶ランドリー』を作りました。徐々に人が集まるようになり、今ではコミュニティの場になっているとよく言われます。どんなに何もない場所でも人は住んでいて、くつろげる場所が必要だと考えています。私の店は、一人でくつろいだり、なにをしてもいい。いろんな人がバラバラに一つの空間に居合わせている場でありたいと思っています。

運営する喫茶ランドリー店内の様子。気軽に利用できる暖かな雰囲気。

著書「マイパブリックとグランドレベル－今日からはじめるまちづくり」と。

◎今後の目標

お店がスタートして1年。始めることは簡単ですが、5年10年と続けて『喫茶ランドリー』が地域で「当たり前の風景」になっていくことが目標です。嬉しいことに『喫茶ランドリー』をやってみたいという人が増え、4店舗プロデュースしています。「自由で多様で許容のあること」を何よりも大切にして、名称や既存のデザインにとらわれず、地域に住んでいる人が町への愛着を高められるような、それぞれの居場所づくりを楽しんでもらえればと思います。

◎境町へのメッセージ

境で過ごした幼少時代は、自然が豊かで、近所付き合いが盛んで、「もの」じゃなくて「人間」にフォーカスがあった環境で育ったことが、今の仕事に繋がっている気がします。境町は今、英語教育に力を入れているそうなので大人も英語移住できたり、日本内で短期留学ができるような場所になったらいいな、と思います。

4月5日に行われた区長会総会の様子

各行政区の区長さんを紹介します

平成31年度区長会長の稲垣稔さん（写真右）

平成３１年度の新区長さんが決まりました。区長さんには、住民と町のパイプ役として住みよいまちづくりのためにご活躍いただきます。

地区	行政区名	区長名	世帯数
境地区	本船町	落合（おちあい）　久夫（ひさお）	31
	下仲町	遠藤（えんどう）　光一（こういち）	20
	上仲町	渡邉（わたなべ）　健一（けんいち）	33
	上町	斉藤（さいとう）　良夫（よしお）	110
	住吉町第１区	倉持（くらもち）　康男（やすお）	87
	住吉町第２区	酒井（さかい）　博司（ひろし）	101
	住吉町第３区	斉藤（さいとう）　進（すすむ）	97
	宮本町	椎名（しいな）　晴夫（はるお）	178
	坂花町	小野里（おのざと）　利夫（としお）	49
	新吉町	鹿久保（しかくぼ）　喜一（きいち）	84
	山神町第１区	内海（うちうみ）　正富（まさとみ）	178
	山神町第２区	佐藤（さとう）　裕好（ひろよし）	167
	旭町１区	宇野（うの）　茂生（しげお）	125
	旭町２区	鶴見（つるみ）　一雄（かずお）	96
	旭町３区	中村（なかむら）　仁（ひとし）	88
	松岡町第１区	浅野（あさの）　俊明（としあき）	127
	松岡町第２区	柿沼（かきぬま）　重一（しげいち）	166
	松岡町第３区	秋元（あきもと）　修（おさむ）	136
	陽光台	中嶋（なかじま）　鉄郎（てつろう）	165
長田地区	蛇池	飯田（いいだ）　正之（まさゆき）	85
	長井戸１区	相良（さがら）　澄夫（すみお）	187
	長井戸２区	相良（さがら）　一男（かずお）	351
	猿山	関（せき）　宣夫（のりお）	92
	下砂井	石川（いしかわ）　利行（としゆき）	98
	栗山	髙﨑（たかさき）　明夫（あきお）	62
	西泉田	菊地（きくち）　清（きよし）	212
	上小橋	成島（なりしま）　幹夫（みきお）	141
	上野原（旧）雇用促進住宅	藤嶋（ふじしま）　亜紀洋（あきひろ）	17

地区	行政区名	区長名	世帯数
猿島地区	金岡　会長	稲垣（いながき）　稔（みのる）	52
	浦向	中田（なかだ）　勇（いさむ）	154
	下小橋	野口（のぐち）　久史（ひさし）	125
	染谷	中村（なかむら）　伸大（のぶお）	107
	大歩	上田（うえだ）　幸男（さちお）	127
	中大歩	渡辺（わたなべ）　利光（としみつ）	40
	内門本田	渡辺（わたなべ）　伊吉（いきち）	79
	内門新田	渡邉（わたなべ）　誠（まこと）	38
	井草	野村（のむら）　久雄（ひさお）	88
	七軒	小野（おの）　幸夫（ゆきお）	57
	喜五郎	山本（やまもと）　勝（まさる）	62
	山崎南	赤荻（あかおぎ）　誠（まこと）	61
	山崎北	半村（はんむら）　進（すすむ）	73
森戸地区	伏木北部	高橋（たかはし）　佳男（よしお）	69
	伏木中部	大野（おおの）　四郎（しろう）	195
	伏木南部	関根（せきね）　富夫（とみお）	156
	一ノ谷	石塚（いしつか）　幸一郎（こういちろう）	51
	百戸	倉持（くらもち）　孝夫（たかお）	127
	桐ヶ作・新田戸	上原（うえはら）　勝一（かついち）	40
	若林蓮台	中村（なかむら）　勝之（かつゆき）	163
	若林新田	倉持（くらもち）　信義（のぶよし）	83
	若林本田　副会長	倉持（くらもち）　保（たもつ）	141
静地区	塚崎一	篠塚（しのつか）　謙一（けんいち）	212
	塚崎二	大竹（おおたけ）　勉（つとむ）	209
	稲尾	栗田（くりた）　次男（つぎお）	71
	志鳥	小林（こばやし）　里見（さとみ）	87
	横塚	島根（しまね）　孝男（たかお）	39

平成31年4月3日現在（敬称略）

町の無料開講講座を紹介する連載コーナーです。今号は「民舞・新舞教室」と「童謡を歌う講座」を紹介します。

File.03

日本舞踊を学び、心を豊かに！

民舞・新舞教室

場　所　中央公民館　講堂　　生徒数　２２名（平成 30 年度）　　開講日　第１・３水曜日　　時　間　13:30-15:30

1 講師と講座生の皆さんでの集合写真。2 生涯学習フェスティバルの様子。緑の衣装がとても華やかです。3 平成３１年「さかい新春の集い」で披露。華麗な舞に大勢の方から拍手がおくられました。

2

3

参加者の声

●相良ふじ子さん
踊りが元々好きで踊りを覚えたいと思い、教室に参加しました。踊りだけでなく着物の着付けも教えてもらっています。講座に入って 12 年。先生の人間性に魅かれて、今も楽しく続けられています。

●関敦子さん
踊りを学びつつ着物も着れるようになりたいとの想いから 15 年続けています。先生に手取り足取り優しく指導してもらっています。踊りを始めてから体力的にも健康になったと実感しています。

●中田久子さん
踊りと着物が好きで教室に参加しました。教室では時間を忘れて踊りに打ち込んでいます。15 年経験していても人前で披露することは緊張しますが、仲間と一緒に踊ることが一番の楽しみです。

舞踊を通して境町を活性化したい

民舞・新舞教室
講師 染谷勝子先生

40年以上携わっている舞踊の経験を活かし、18年ほど務めさせていただいています。

民舞・新舞教室では民謡や新しい曲など、色々な曲に合わせて踊ったり、着物の着付けも覚えられます。振り付けを覚えて身体全体で表現することで脳トレにも繋がります。

年に1回研修旅行を行い、昨年は浅草公会堂での講演を観覧して新たな刺激を受けました。介護施設等へも慰問し、踊りを披露して利用者の方たちに喜ばれています。

舞踊を通して境町を活性化したいという想いから、新春の集いや境だるま市、境ふるさと祭りのパレード等でも積極的に披露しています。

踊りを始めてみたい方は、日本舞踊の基礎から着物の着付けまで丁寧にご指導させていただきます。

心豊かな舞踊の世界を一緒に味わってみませんか。

問合せ　中央公民館　☎公民館 81-1340

※広報さかい３・４月合併号で紹介した着付け教室の場所に誤りがありました。正しくは中央公民館です。お詫びして訂正いたします。

File.04

楽しい雰囲気の中で美しい合唱を！！

童謡を歌う講座

場　所　シンパシーホール　　生徒数　58 名（平成 30 年度）　　開講日　第２・４木曜日　　時　間　9:30-11:30

1

2

3

4

1 講師と講座生の皆さんでの集合写真。2 講師や役員の皆さんとこれまでのあゆみを語らいました。『千の風になって』でブレイクした新井満氏との共演は思い出に深く刻まれています。3 平成 12 年～平成 30 年の研修旅行のしおり。講座のあゆみにも触れてきました。4 ピアノの伴奏に合わせて練習する様子。混声三部合唱の深みのある歌が響いています。

参加者の声

●高橋政芳さん
女性が多く明るい講座で、楽しく活動しています。友達３人で入り、現在は６人で男声パートを担当しています。声を合わせ、ハーモニーを作ることにやりがいを感じます。研修旅行のしおりの絵も描いています。

●平川眞希子さん
平成３０年度の学級長を務めています。先生方の優しく丁寧な指導のおかげで難しい曲にも挑戦しています。音楽を通して喜びや経験を積み重ねていけることが、生きがいになっています。

●植竹里子さん
開講から２０年間継続して参加しています。孫に童謡を歌ってあげたいとの想いから始めました。講座に参加して歌うことの気持ちよさに気づくことが出来て、毎日心が満たされています。

『音の和は心の和』

講師 金久保一美先生
主にピアノ伴奏を担当

講師 針替道子先生
主に楽曲指導と指揮を担当

「童謡をはじめとした多くの曲を通して豊かな心を育んでほしい。」

平成11年針替先生の指導により22名の受講生で始まり、平成14年からは金久保先生の指導も受け、童謡・唱歌をはじめ、外国の難しい曲など幅広い楽曲の歌を楽しんでいます。「音の和は心の和」を目標に、仲間づくりを大切に、協力しあいながら運営しています。嬉しいことに年々受講者が増加し、特に男性が増えたことで「混声三部合唱」の深みのある演奏をしています。高齢者から若い人まで、仕事も様々な人が参加し、仲良く意欲的に練習しています。

童謡を通して、合唱の楽しさと喜びを味わってみませんか。

問合せ　シンパシーホール　☎ 87-5858

3 ／ 27

王子コンテナー㈱茨城工場と災害協定を締結
災害時に段ボールベッドを供給

町は、段ボールシート・ケースの製造販売などを手掛ける王子コンテナー㈱茨城工場と災害時における物資供給協定を締結しました。今後、利根川の決壊等の大規模災害が発生した際には、長期の避難生活が想定されることから、段ボールベッドなどの必要物資を供給していただきます。災害は、いつ・どこで・どのように発生するか予想することは困難です。王子コンテナー㈱は、全国で 27 工場、関東でも 8 工場が展開し、供給ネットワークが構成されています。段ボール製品は、災害発生時に暖かく、衛生面に優れ、汎用性のある素材として様々な用途で使用されています。

王子コンテナー㈱茨城工場の鹿野谷智志工場長（写真左）

〈段ボールベッドの作り方〉

①段ボールを組み立てる　②段ボールを縦、横に３つずつ並べる　③並べた段ボールに天板を載せて完成

3 ／ 19

「荒ぶる自然災害に地域一体で向かい合う」
東京大学大学院片田特任教授による防災講演会

境町中央公民館において、東京大学大学院・片田敏孝特任教授により平成 30 年度、２回目となる防災講演会が開催されました。町では、防災研究の第一人者である片田特任教授を防災アドバイザーとしてお迎えし、２ヶ年にわたる広域避難の調査研究や「逃げどきマップ」作成時の監修等にご尽力頂いております。講演会では、「荒ぶる自然災害に地域一体で向かい合う」をテーマに自らの命は自ら守る、自主的な広域避難を推奨し、避難意識の改善、広域避難の徹底、「共助」の活性化について講演を行いました。会場に集まった区長等の防災リーダーをはじめとする約 420 名の住民の方々は、講演会に真剣に耳を傾けていました。

片田特任教授の監修で作成した「逃げどきマップ」

講演を行う片田特任教授

講演を熱心に聞く参加者の皆さん

4 ／ 13

「第 17 回さかい河岸フェスティバル」を開催
（旧菜の花フェスティバル）

利根川河川敷にて、さかい河岸フェスティバル実行委員会（増渕実行委員長）の主催により、今年で 17 回目となる「さかい河岸フェスティバル（旧菜の花フェスティバル）」を、名称も新たに開催しました。当日は天気にも恵まれ、河川敷は、約１万２千人の来場者で賑わいました。会場では、満開の菜の花の中、さかい４Ｈクラブによるトラクター遊覧やはしご車体験、セグウェイ試乗、エアボート試乗、熱気球体験、ミニＳＬや乗馬体験、卵無料配布、ふるさとクーポン抽選会などが行われました。また、町内農家や飲食店等による「菜の花商店街」が出店され、地元産の新鮮野菜や飲食物が販売されました。特設ステージでは、フラダンスや日本舞踊、和太鼓、ダンス等の発表が行われ、来場者の目を楽しませていました。

子ども達に大人気のサカイタチ

多くの来場者で賑わった菜の花商店街

青空のもと、菜の花を満喫する来場者の皆さん

はしご車体験

ミニ SL を楽しむ来場者の皆さん

3 ／ 26

全国小・中学校交通安全ポスターコンクールで
齊藤凛さんが農林水産大臣賞を受賞

猿島小学校３年の齊藤凛さんが「平成 30 年度第 47 回 JA 共済全国小・中学生交通安全ポスターコンクール」において、農林水産大臣賞を受賞しました。２月１日には、全国共済農業協同組合連合会（JA 共済）主催の「書道・交通安全ポスターコンクール」の表彰式が都内で行われました。このコンクールには全国から 16 万 2,262 点の応募があり、齊藤さんの作品は、駐車場で遊ぶことの危険性を分かりやすく表現した点が評価され、今回の受賞となりました。また、猿島小は、児童全員がポスターを描き応募するなど、学校全体での取り組みが評価され、学校賞も受賞しています。

第 47 回 農林水産大臣賞 受賞

農林水産大臣賞を受賞した作品

報告に来庁した齊藤さん一家

齊藤さん愛用の絵の具セット

Voice

猿島小３年　齊藤　凛さん

自動車や遊んでいる子どもがうまく描けて良かったです。表彰式は、緊張したけどうれしかったです。絵を描くときは、顔の色がはみ出さないように、きれいに描くように気をつけてます。

3/13・19・20、4/3・8・9

町内保育園で卒園式・入園式　小中学校で卒業式・入学式
新入園児 29 名、新小学生 204 名、新中学生 193 名が誕生

森戸小には 34 名の新入生が入学しました

校長先生より教科書を受け取る代表児童

平成 30 年度卒園式・卒業式が挙行され、園児・児童・生徒が思い出のたくさん詰まった学び舎に別れを告げました。

また、4 月には、入園式・入学式が挙行され 29 名の新入園児、204 名の新小学生、193 名の新中学生が誕生し、本格的に新年度がスタートしました。

真新しい洋服や制服に身を包んだ新入生たちは、期待と希望に胸を膨らませながら、新しい学び舎の門をくぐりました。

平成 30 年度 卒園生・卒業生の数

学校名	おおぞら	ひまわり	境小	長田小	猿島小	森戸小	静小	境一中	境二中
人数（名）	28	11	72	43	32	37	23	139	80
合計	39 名		207 名					219 名	

平成 31 年度 新入園児・新入生の数

学校名	おおぞら	ひまわり	境小	長田小	猿島小	森戸小	静小	境一中	境二中
人数（名）	17	12	80	45	28	34	17	131	62
合計	29 名		204 名					193 名	

スポーツ

4 ／ 13・14

第 42 回 境町ジュニアユースサッカー大会

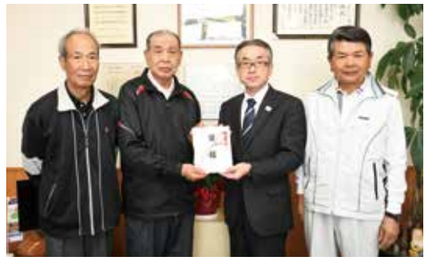
会　場　境町サッカー場・他
参加チーム　12 チーム
優　勝　ロク FC（埼玉県さいたま市）
準優勝　東海村立東海中学校（東海村）
第３位　八千代町立八千代第一中学校（八千代町）
　　土浦市立土浦第四中学校（土浦市）

寄付

3/ 27

グラウンド・ゴルフふれあい友の会が町へ寄付

グラウンド・ゴルフふれあい友の会（平間会長）が、50,000 円を教育振興のため役立てて頂きたいと寄付されました。


寄付に訪れたグラウンド・ゴルフふれあい友の会の皆さんと忍田教育長

3/ 29

常陽銀行が防犯ブザーを寄贈

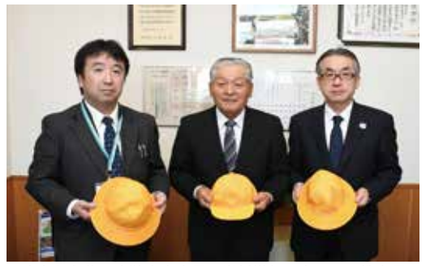
常陽銀行の竹下博実境支店長が役場を訪れ、この春入学する小学１年生の防犯に役立てていただきたいと防犯ブザーが小学校の新入生 204 名に贈られました。

写真左から、竹下支店長、忍田教育長

4/ 4

茨城むつみ農協が黄色の安全帽子を寄贈

児童の登下校時の安全を願って、茨城むつみ農協より黄色の交通安全帽子が町内小学校の新入生 204 名に贈られました。


写真左から佐々木猿島支店長、半村常任理事、忍田教育長

俳句

三月十六日　境町文化協会俳句部

兼題「春の山・白酒・鳥帰る」他当季雑詠

どの樹々も生気溢れる春の山　すみ子

※いよいよ待ちに待った春がやってきた。山の樹一本一本が眠りから醒めて、まぶしいばかりに芽を伸ばし、あるいは、美しい花を咲かせはじめた。作品からは、友と誘い合い一日も早く近くの山に登りたい・・・という作者の願望が伝わってくる。

鳥帰る北への旅路幾山河　雄節

※越冬した白鳥をはじめとする多くの渡り鳥が北に帰ってゆく。近くでは、坂東市菅生沼に飛来していた白鳥たちが帰り始める。野鳥の会・写真愛好会・地元の方々など多くが、それぞれの家族・一団との別れを惜しむ。長い旅路の安全と無事をひたすら祈りつつ。

本年も気は濁りなく白酒に　登
白酒にほんのり染まる吾子の頬　慶子
白酒や笑顔ですゝる子の愛し　ちから
白酒や新成人も頬を染め　省三
酔ひて又醒めて嬉しき雛の酒　久子
賑わいて心も弾む春の山　譲一
春の山筑波二峰も寄り添ひて　幸子
大空の風に乗れたか　鳥帰る　正子
待ち侘びてリュック背負って春の山　妙子
垂乳根の温もり恋し桃の酒　きみ代
木霊する沢の瀬音や春の山　光夫
動きだし語りだしそな春の山　仁
奥座敷居心地佳きぞ　お白酒　香こ
鳥帰る翼ひろげた雲つれて　みよ子
木の間より差す日和らぐ春の山　きよ乃
はぐれ鳥親鳥見つけ鳥帰る　正映
鳥帰る北の果てまで幾千里　まこ

短歌

鉢植えのつぼみふくらむも小雪かかりて開花にならず　川村米子
彩りの無き冬庭に誇るごと夏蜜柑あまた色濃く光る　風間リヨ子
ふるさとの夢よなつかし明け方に一人めぐらすあの小川　川上ヒサ
静かなる椿の花よ葉ごもりにかくれて見ゆる小さきつぼみ　稲田美重子
寒き日に逝かれし友を忍びつつ今日のこの日を忘れじと思う　飯田俊子
晩冬に乙女椿が一輪咲きて春の足音近づく予感　松岡美智子
新年の一富士二鷹と詠むひと日うつしみのよわい一つ重ぬる　本島いと子
学友は知能も優れイケメンでわれ憧れしすばらしき人　五月女三枝子
透きとおる声はり上げて健気にも子役は舞台に華を添えたり　鈴木喜与子
きさらぎは吾が誕生の月となり傘寿を過ぎて夢のごとしに　桜井レイ
節句にと子ら連れ野辺のよもぎ摘み作りし餅の香り懐かし　斉藤敬子

境短歌会　山鳩

風薫る五月に入りました。一年のうちで最も過ごしやすい月とも言われています。五月の季語で皐月とも言われますが、早苗を植える月「早苗月」の略とも言われ「皐」には「神に捧げる稲」と言う意味があるそうです。自然の恵みに感謝し乍ら良い季節の中豊かな心を育んで行けたらと思います。

自衛官とお見合いのできる
お見合いパーティ
結婚相談室
Chapel
古河店
久喜店
完全会員制
公的書類の提出　面接のできる方
★一般社会人ともお見合い可能な会員
★自衛官とのパーティ＆お見合い専用の会員
0280-30-7070

「広報さかい」へ有料広告を掲載しませんか？
広告募集中
広告掲載料
◎１段全枠　15,000 円
◎１段半枠　8,000 円
※詳しくは下記までお問合わせください。
問合せ先　役場秘書広聴課
電話　0280（81）1329
E-mail　kouhou@town.sakai.ibaraki.jp

新国立競技場を手がけた隈研吾氏による設計

さかい河岸レストラン「茶蔵」

道の駅さかいに
NEW OPEN

町の新たな魅力発信！さかい河岸レストラン「茶蔵」オープン

４月19日（金）、道の駅さかい敷地内にさかい河岸レストラン「茶蔵」がオープンし、オープニングセレモニーが盛大に行われました。設計を手がけた隈研吾氏もテープカットなどに参加しました。この建物は、外観に県内産のスギ材を用いて新国立競技場とリンクするデザインになっており、今後境町の魅力を発信する場所として期待されています。店内には天井から地元さしま茶で染めた布がかけられ、柔らかであたたかな空間を演出しています。１階では地元の食材を使用したビュッフェ、２階ではさしま茶やスイーツを楽しめるサロンのほか常陸牛や梅山豚など各種コースを堪能できる完全予約制の鉄板焼きをお楽しみいただけます。是非お越しください。

セレモニーでのテープカットの様子（写真左から、小松マテーレ㈱中山代表取締役会長、利根川河川事務所三橋所長、永岡衆議院議員、㈱隈研吾建築都市設計事務所主宰隈研吾氏、橋本町長、㈱まちづくり公社野口代表取締役、倉持議長、茨城県議会半村議員、茨城県営業戦略部堀江部長、中和建設㈱中村代表取締役）

営業時間

１階	「さかいキッチン」	11：00～17：00　ビュッフェ（90分間） 一般1,580円 / 小学生790円 / 幼児無料
２階	「さしま茶サロン」	11：00～17：00　さしま茶セット700円～
	「さかい鉄板」	17：00～22：00　コース5,500円～
		※完全予約制 ☎0280-87-5011 9：00～18：00受付

interview

川崎幸一さん（左）
飛田祥悟さん（右）
（ひたちなか市）

voice
新聞とニュースでオープンを知りました。料理はとても味付けが良くて、特に、ローストビーフ丼はお米もお肉も美味しかったです。おしゃれな建物の外から中の様子が見え、入ってみたくなりました。

樋口起子さん（左）
金子真弓さん（右）
（久喜市）

voice
斬新な建物がおしゃれで、外から見ても目立っていました。ビュッフェは１つ１つが自然な味わいでとても美味しくて、特にローストビーフをはじめ、お肉類がすごく柔らかくて美味しかったです。

佐久間さんと同僚の皆さん
（古河市）

voice
さしま茶染めのファブリックなど、お店がとてもおしゃれだと感じました。ビュッフェは新鮮な野菜や、ドレッシングも種類が豊富で、女性にはうれしいサービスだと思います。

町の人口と世帯数　※平成31年5月1日現在の常住人口（前月比）

■総人口24,175人（+2）　■男性12,237人（-14）　■女性11,938人（+16）　■世帯数8,608世帯（+11）

■発行所 / 境町役場　〒306-0495　茨城県猿島郡境町391-1　Tel.0280-81-1329　■編集 / 秘書広聴課　■発行日 / 令和元年5月1日
■境町ホームページ　http://www.town.sakai.ibaraki.jp/